

I 自己評価

岐阜県立可児工業高等学校

学校番号

42

1 学校教育目標	(1) 基礎学力と専門の知識・技能の確実な定着 (2) 基本的生活習慣の習得と豊かで逞しい心の育成 (3) 産業界の信頼に応える学力の保証と勤労観の育成 (4) 豊かな人間性や社会性の育成
2 現状の分析	○基本的生活習慣の充実を目標に、遅刻防止指導に力を入れている。「遅刻0週間から、遅刻0習慣へ」のスローガンで取り組み、遅刻者数の減少を目標にしているが、生徒間で意識の差が大きく指導の工夫が急務となっている。 ○平成24年度にキャリア教育優良学校として表彰を受けたが、3年間の指導体系を確立することで、一層の充実が求められる。 ▲入学時の学力差が大きく、クラス内・学科間においての実態把握と、きめ細かな指導が必要となっている。
3 学校の抱える課題	・基礎的、基本的な学力の習得を目指す取り組みの効果を、どう検証し改善に繋げるか。 ・実践的な工業技術者の育成を目指すため、社会に通用するコミュニケーション能力の向上。 ・部活動や資格取得など、授業以外においても生徒の意欲向上が求められている。 ・生活習慣や環境、学習能力の格差が大きい生徒達に、挨拶や身だしなみ、交通安全マナー意識向上を図るための具体的な指導法。
4 今年度の具体的な重点目標	1. 逞しく生き抜くための基礎学力の定着と、専門知識・技能の習得を図る「チームワークでつくる可児工の確かな教育力」 2. 社会人としてのマナーやモラルを身につけた生徒の育成「生徒のことを思いやる心と共感的な生徒理解」 3. 地域社会や地域産業から期待され、信頼される学校づくり

年 度 目 標			年 度 末 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
教育課程 学習指導	①基礎基本の定着を徹底する ②授業改善を目的に研修を充実 ③進学対応の教科指導内容研究	①診断テストの実施 ②生徒アンケートの分析 ③指導計画の完成	①基礎学力診断テストの分析 ②公開授業週間や職員研修の開催 ③コース希望者の決定と意識付け	B B A	○進学対応の指導内容充実 ▲基礎学力定着に向けた診断ツールの効果的な活用	A
キャリア教育 進路指導	①進路ガイダンス機能の充実 ②インターンシップ体験の充実 ③主体的な進路選択意識の醸成	①就職希望者全員の内定確保 ②就業ノート等の分析 ③就職進学活動の積極性	①外部講師の協力を得て5回以上実施 ②事前事後の指導を充実を図る ③進路選択に明確な目標を持たせる	A B B	○各種ガイダンスや体験が 進路意識の高揚に繋がった ▲生徒間でその差が大きい	B C
生活指導 コミュニケーション能力 の育成	①多様な生徒に対応できる、指導 法の研修と実践 ②基本的な社会マナーの定着	①個人のスキルアップと組織 としての指導力の向上 ②外部からの評価	①問題行動の減少と退学者の減少 ②各種イベントへの積極的な参加	B A	○多くの生徒が積極的に取 り組む姿勢が目立った ▲効果的な情報の共有化	D

II 学校関係者評価

実施年月日：平成26年2月10日

・複数のイベントにも参加しているようで、地域からは高い評価を得ていると思う。ただ参加するだけでなくイベントの運営や学校PRをすると積極的に取り組みを期待している。  
・資格試験への取り組みや学習成果の発表は年々充実してきている。  
・情報提供などが不十分な面がある。保護者との連携をさらに深め、家庭と一体になった支援体制が重要である。

12 来年度に向けての改善方策案

・生徒の学力を引き出す評価の研究を具体化させ、結果の検証ができる  
・キャリア教育の取り組み体系を検証し、その定着と充実を図る。  
・多様な生徒対応のため、教育相談体制の充実を図り援助体制を強化する。  
・魅力ある授業を目指し、指導法の工夫や授業改善に向け職員研修を充実させる。  
・生徒の意欲を引き出す効果的な評価の在り方を、学校活動全般に位置づける。